

小山田小学校 SE 国語の授業づくり 「読む」「書く」の場面における各学年の手立て 1 学期

学年	単元・教材	「読む」手立て	「書く」手立て
1 年	「くちばし」	<ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えや形、使い方、食べ物を色分けし、教科書に線を引き、視覚的にわかりやすくする。(精査・解釈) ・問いと答えを確認するため、列や隣同士で問いと答えに分かれて言い合うなどの活動を毎時間行う。(精査・解釈) ・3つの鳥を比べやすいように、本文を1ページにまとめたワークシートに色分けする。(構造と内容の把握) ・写真と文章とのつながりを大切にする。(構造と内容の把握) ・くちばしの形の特徴を挿絵で確認し、本文と照らし合わせ、食べ物に関係があることを押さえる。(精査・解釈) ・前に出た鳥と比べながら学習を進める。(精査・解釈) ・それぞれの鳥のくちばしを学習するときに、驚いたところなど感想を出し合っておく。(考えの形成) ・鳥のくちばしの形や働きが分かるように、本文で確認した後、ストローなどイメージしやすい具体物や動画を見る。(精査・解釈) ・3羽の鳥の中から、自分がすごいと思ったくちばしについて、訳を話す活動も取り入れる。(考えの形成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えや形、使い方、食べ物を色分けし、教科書に線を引き、視覚的にわかりやすくする。(内容の検討) ・それぞれの鳥のくちばしを学習するときに、驚いたところなど感想を出し合っておく。(情報の収集) ・文型を掲示し、視覚的に文末表現を理解できるようにする。(構成の検討) ・教師の例文を示す。(構成の検討) ・驚いた理由とくちばしの形が本文の叙述から選べるように、くちばしの形に着目し、自分の選んだ鳥の叙述を囲んで挿絵とつなぐ。(考えの形成)
2 年	「たんぼぼのちえ」	<ul style="list-style-type: none"> ・とき・様子・わけを色分けし、教科書に線を引き、視覚的にわかりやすくする。(精査・解釈) ・とき・様子・わけがわかりやすいワークシートにまとめる。(構造と内容の把握) ・挿絵と順序やちえとのつながりを大切にする。(構造と内容の把握) ・本時まででたんぼぼの知恵が紹介されるごとに、すごいと思ったところや不思議に思ったところなどの感想を書く。(考えの形成) ・教科横断的な学習を取り入れ、生活科でたんぼぼ観察を行う。その際、たんぼぼを比較したり、さわった感触、実際に見た感想などを書いたりしておく。(考えの形成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時まででたんぼぼの知恵が紹介されるごとに、すごいと思ったところや不思議に思ったところなどの感想を書く。(情報の収集) ・教科横断的な学習を取り入れ、生活科でたんぼぼ観察を行う。その際、たんぼぼを比較したり、さわった感触、実際に見た感想などを書いたりしておく。(情報の収集) ・良い文章を書く観点を整理する際は、教師の例文とともに観点を掲示しておく。(構成の検討) ・具体例を掲示し、視覚的に文末表現を理解しやすくする。(構成の検討) ・セルフチェックシートを用意し、自分で文章を読み返しやすくする。(推敲)

3年	「言葉で遊ぼう」 「こまを楽しむ」	・「問い」と「答え」・「こまの種類」「楽しみ方」「こまの特徴」を色分けし、教科書に線を引き、構成が視覚的にわかりやすくなるようにする。(精査・解釈) ・「初め・中・終わり」の構成を確認し、ワークシートでまとめる。(構造と内容の把握) ・段落を確認し、段落の構成についても確認する。(構造と内容の把握) ・『言葉で遊ぼう』でも、感想を伝え合う活動を経験させる。(考えの形成) ・言葉遊びの本を並行読書として示したり、実際にこまで遊んだり、動画を見たりすることで、言葉遊びやこまに興味を持てるようにする。(考えの形成)	・教師の例文を示す。(構成の検討) ・「こまの種類」「楽しみ方」「選んだ理由」の構成でまとめられるように確認する。(構成の検討) ・第4時で学習した「中」の内容をまとめたものを掲示し、キーワードを使って書けるようにする。(構成の検討) ・「こまの種類」「楽しみ方」「選んだ理由」を色分けしてメモする。(構成の検討)
4年	「思いやりのデザイン」 「アップとルーズで伝える」	・筆者の考えが、「初め」「終わり」に書かれている総括型の説明文であることを確認する。(構造と内容の把握) ・筆者の考えに線を引く。(精査・解釈) ・「思いやりのデザイン」の構成をヒントにできるように掲示し、ふり返る。(構造と内容の把握) ・自分の考えを持つために・・・ →経験と結びつけさせるために、日々の日常の中にそういった体験がないか考えて共有する。(考えの形成) ・筋道を立てて考えるために・・・ →ワークシートを用い「はじめ・中・おわり」で文章を捉え、全体の構成や対比の効果を確認する。(構造と内容の把握) ・情報を取捨選択したり関連づけて考えたりするために・・・ →筆者が自分の考えを伝えるために、どんな事例を対比させているのかをpushさえながら読み進める。(構造と内容の把握)	・教師の例文を示す。(構成の検討) ・セルフチェックシートを用意し、自分で文章を読み返しやすくする。(推敲) ・自分の考えを持つために・・・ →自分の経験をクラス全体で共有し、自分の考えと結び付けて書く。(共有・考えの形成) ・筋道を立てて考えるために・・・ →双括型(結論→理由→結論)で説明文がなっていることをおさえ、自分の考えを伝えるために構成を考える。(構成の検討) ・情報を取捨選択したり関連づけて考えたりするために・・・ →筆者の考えに対して、共感や疑問を考える機会をもち、その理由を自分の経験と結び付ける。(考えの形成)
5年	「見立てる」 「言葉の意味が分かること」	・筆者の考えや事例のどこに共感・納得・疑問なのかを確認し、それがどんな自分の経験と結びついているか考える。(考えの形成) ・要旨を捉えられるように、筆者の考えが「初め」「終わり」に書かれている総括型であることを確認する。(構造と内容の把握) ・筆者の主張に線を引く。(精査・解釈) ・「見立てる」の構成をヒントにできるように掲示し、ふり返る。(構造と内容の把握) ・構成が分かりやすいワークシートや表にまとめる。キーワードを確認する。(構造と内容の把握)	・教師の例文を示す。(構成の検討) ・筆者の考えや事例のどこに共感・納得・疑問なのかを確認し、それがどんな自分の経験と結びついているかを書くことよいことを伝える。(考えの形成) ・セルフチェックシートを用意し、自分で文章を読み返しやすくする。(推敲)

<p>6年</p>	<p>「笑うからたのしい」 「時計の時間と心の時間」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えが、「初め」「終わり」に書かれている総括型の説明文であることを確認する。(構造と内容の把握) ・筆者の主張とそれを支える事例の効果、筆者の工夫を考える。(精査・解釈) ・主張を赤、事例を青で色分けする。(精査・解釈) ・「中」の事例を体験しながら読み、自分の経験と重ねながら意見をもつ。(考えの形成) ・センテンスカードで整理する。(構造と内容の把握) ・「時計の時間と心の時間」の主張と事例のまとめをふり返る。(構造と内容の把握) ・構成が分かりやすいワークシートや表にまとめる。(構造と内容の把握) ・自分の考えを持つために・・・ →経験と結びつけるために、過去の体験を想起したり、実際にその場で体験したりしながら読み進める。(考えの形成) ・筋道を立てて考えるために・・・ →ワークシートで段落ごとの要点を押さえ、「主張—事例—主張」という全体の構成の形を捉える。(構造と内容の把握) ・情報を取捨選択したり関連づけて考えたりするために・・・ →筆者がどんなことを伝えるために、どんな事例を出しているか押さえながら読み進める。(構造と内容の把握) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の例文を示す。(構成の検討) ・1. 主張のみ 2. 主張+理由+事例+主張 3. 主張+理由+事例①+事例②+主張 を示し、どれが一番説得力があるか考える。(構成の検討) ・「中」の事例を体験しながら読み、自分の経験と重ねながら意見をもつ。(考えの形成) ・「時計の時間と心の時間」の主張と事例のまとめをふり返り、書き方を確認する。(構成の検討) ・主張を赤付箋、事例を青付箋にメモをし、(タブレットでも色分け)構成を考える。(構成の検討) ・自分の考えを持つために・・・ →自分の経験を想起させ、それと結び付けて書く。(考えの形成) ・筋道を立てて考えるために・・・ →ロイロノートで、主張(ピンク)・事例(水色)で色分けした付箋を使い、それを並べ替えたり、組み合わせたりすることで構成を考える。(構成の検討) ・情報を取捨選択したり関連づけて考えたりするために・・・ →筆者の考えに対して、共感や疑問の観点で考え、それに合った筆者の事例と自分の経験を結び付ける。(考えの形成)
<p>なかよし</p>	<p>「お楽しみ会の感想を伝えよう」</p>	<p>「書く」手立て</p> <p>*一人ひとり発達段階が違うため、個別に目標を設定し、個別の手立てを活用して書く(視覚的に表現できる)ように進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを文章に書けるようにするために、自立活動「みんなの時間」の中で毎回「元気しらべ」を行い、自分の事(気持ちを含む)を伝える場面を設定し練習を続けている。(言語活動) ・日々の記録を写真や動画に残しておき、自分の伝えたいことを絵や写真から選ぶようにする。(内容の検討・情報収集) ・気持ちカード、出来事カードを使って、出来事や気持ちを整理して書く内容を決める。(内容の検討) ・感想文に必要な項目を2つ設定している。「頑張ったこと、楽しかったこと」と「その理由」(文章表現、写真で表現というように個人に合った表現方法)。(構成の検討) ・一人ひとりに合うワークシートを使って、文章を作成する。個人に合う型を何パターンか作って、書きやすいもので進めている。(考えの形成) →ワークシートの設問一つひとつを教師が読み、それに対して児童が口にしたことを書くように進める。 →出来事に対して「この時はどう思っていた?」「これはどんな気持ち?」と質問をして気持ちを聞き出し、断片的な言葉を繋ぐ活動を行う。 →文章をより詳しくするために、何がどうだったのかを聞き取りながら感想文のメモ作りをする。このメモを組み立てたら文章が完成するという方法で文章を作り上げる。 	